

## 隅の親石

「家造りの捨てた石が、隅の親石となった。  
これは神のわざ、人の目には不思議なこと」  
(典礼聖歌 87 詩篇(118・22-23))

この詞は何を意味しているのでしょうか。  
「家造り」、「捨てた石」、「隅」、「親石」  
と言葉が出てきますが、何のことでしょう  
か。  
「親石」という言葉は聖書全編のうちもう 1  
ヶ所に出きます。

「主はつむじ風の中からヨブに言われる。  
私はあなたに尋ねる、わたしに答えよ。  
私が地の基(もと)をすえた時——その  
土台は何の上に置かれたか、その隅の石は  
だれが据えたか」 詩篇(38・4-6)

これを読むと、「だれ」は神ご自身のこと  
だとわかります。すると元の詞は「家造りの  
捨てた石を、神が隅の親石にした」という意  
味になります。

この地では家は石で造られていて、親石  
というのは石造りの建物の基礎のうちでも、  
隅に据える非常に大事な石のことです。

この石がキリストのことを意味し、その  
礎(いしずえ)の上に教会が建てられたと解  
釈することができます。すると「家造り」と  
は、キリストを捨てた専門家つまりユダヤ  
教のリーダーたちです。

「キリストは人間の姿で現れ、死にいたるま  
で、しかも十字架の死にいたるまで、  
自分を低くして従うものとなった。  
それゆえ神はキリストを高くあげて、  
すべてにまさる名をお与えになった」  
(ピリペへの手紙 2・6-9 典礼聖歌 317)

詩篇の 2 ヶ所とピリペへの手紙の言葉は、  
共通の内容であることがわかりますね。と  
ころが前者は旧約聖書、後者は新約聖書で  
すから、詩篇は預言書として読むとよく理  
解できます。

実際、聖書の中で「預言が成就された」と  
あるものの多くは詩篇にあるいくつかの言  
葉が預言として解釈されたものです。

旧約と新約をつなげた一つの聖書とし  
て読むと、「隅の親石」の意味もはっきりし、  
その奥深さに触れることができると思いま  
す。